

突然の秋の訪れで、六甲山荘では火が恋しくなりました。芸術の秋、文化の秋、食欲の秋・・・みんなで楽しみましょう！

## お知らせ

- ・創立10周年記念講演会 10月9日(土) 講演・河合雅雄氏、山極寿一氏 会場・関西学院中学部講堂
- ・ヴォーリス建築文化全国ネットワーク全国大会 10月16日(土) 北海道北見市
- ・てづくり工房ほりだし市 11月3日(水・祝) 草志舎
- ・ヴォーリス六甲山荘一般公開最終 11月21日(日)
- ・ヴォーリス六甲山荘大掃除&暖炉とワインと石窯ピザを楽しむ会 11月23日(火・祝)

### 予告1

### てづくり工房ほりだし市

月日 2010年11月3日(水・祝) 場所 草志舎

会場には会員の手作り品や有機農家会員の生産品、協会の趣旨に賛同するグループの作品などが並びます。あたたかい雰囲気の良いほりだし市です。おいしいお昼ごはん、喫茶も用意いたします。大勢の方に来ていただけるよう、お知り合いにお声をおかけください。

#### 出品のお願い

皆さんの出品、準備と当日のスタッフを募集しています。応募いただける方は別紙(あるいはメール)でお知らせください。

- ・ てづくり品・・・こもの、カード、絵はがき、などなど
- ・ 食品・・・総菜、ケーキ、パンなど
- ・ 不要なアクセサリ、スカーフ・・・リサイクルします
- ・ 古本

出品いただける方は別紙(あるいはメール)の出品表にご記入のうえご返送ください。沢山の品物が集まりますよう、お待ちしております。

### ご報告1 神戸国際ワーキングホリデー 9月1日(水)~6日(月)

なかなかの力仕事の6日間でした。日本国内から4名、海外(台湾、韓国、イギリス)から5名の参加者を迎えて、作業と生活を支えるためにのべ56名のスタッフが六甲山荘に通いあるいは泊まりこみました。おかげで予定していた作業はすべて完了し、事故、怪我もなく、無事に日程を終えることができました。一日のプログラムも、午前と午後に作業、夜は参加者の発表会と充実していましたし、合間にスイカ割り、野点、花火、夜景などを楽しみ、交代で有馬温泉へ行ったり、六甲山の自然観察をしたり、中身の濃い毎日でした。最後には神戸女学院のケンウッド館(ヴォーリス設計)に宿泊して、会員との交流会をしました。

参加者からは声をそろえて「とても楽しかった!ありがとう!」の感想が寄せられました。特に大勢のスタッフが連日日替わりで登場して、通訳や台所の仕事をこなしていることが大変印象深かったようです。当協会の会員の実力がみごとに発揮されたといえるでしょう。スタッフの皆さん、お疲れさまでした、そしてありがとうございました。

- ・作業内容: 山荘リビングの北窓の窓枠塗り替え、土間の板床張り、野点席の仕上げ、北庭の笹退治、薪づくり

参加者一同・六甲山荘門前にて



八尾 佳子

コーラス仲間から「コンサートよかったわ」という声がいまだ聞かれます。兵庫県立芸術文化センター小ホール、あの円形ステージを囲むようにお客様で埋め尽くされました。

8月初旬会議で集まった委員は「うんまだ300枚か、もう少しがんばろう!」と気合いを入れていましたが、それから一週間後なんと400枚近く、あれよあれよという間に定員オーバー。今度は「どうしよう。どうしよう。」と頭を悩ませておりました。過去の経験からたぶん一割は「おあいそ買い」だから「差っ引いて」と言っておりましたが内心「どうしよう」? ドキドキでした。でも現実はいびつたり。丁度よい客席の入りで、舞台裏モニターでセンターの方たちと思わず「にこっ」と顔を見合わせた瞬間を忘れられません。

1年間の準備期間があり、実行委員の方々の奮闘振りに頭がさがる思いでした。

当日の舞台裏をご紹介します。以前と事情が異なり、楽屋口にいろいろな方がお見えになるたびにお迎えに行かねばなりません。出演者、その関係者、ボランティア等など。センターの携帯がなる、すぐエレベーターに乗る。小走りで楽屋口へ何回往復したことでしょ。

8月24日午後1時前私は楽屋口に到着。前日、センターのMさんとお会いし、いろいろと確認し、当日トラブルのないよう打ち合わせをしました。Mさんとは顔なじみで今回も協力的、うれしい限りです。

出演者の先生方も続々到着。MCも畑先生がなさるといことでセンターの係りとの打ち合わせOK。あと困ったことにアメニティ2000協会について先生からおたずねがあった時、しどろもどろ、「お待ちください」と言って理事長をお呼びしました。本番前のあわただしい1時、グリーンンのベストをお召しの先生はステージへと歩まれました。静かになった舞台裏、私はモニターを見入っていました。

小さな花束を贈呈、なりやまない拍手の中、4人の出演者はすぐロビーへ、委員は後片付けに奔走。21時半には会場、ホワイエとも明け渡すという決まりのため、各控え室など忘れ物がないか確認。やっと終わりました。イベントのたびに10日ぐらい前から私の緊張が始まり、ほっとする瞬間。事故など何事もないのが当然。しかし何が起こるか分からない時代。皆様が幸せ一杯を抱いて帰路に着かれることを願う主催者のいつわらざる気持ちです。もう一度、ありがとうございました！

## ご報告2 コウノトリの郷との交流 9月20日(月・祝)

さわやかな秋晴れの日でした。豊岡の畷さんの田んぼで黄金色に実った稲を刈り取りました。カマを使ってザックザックと刈っていると、足元からはバツが次々と飛びたちます。ほかにもいろいろな虫がいて、これがすべてコウノトリのエサとなるのだと伺うと、なんだか嬉しくなりました。

昼食は畷さんの奥様がスクモ釜(もみ殻を燃料とする釜)で炊いてくださったコウノトリのお米のおにぎりと、畷さんの畑の新鮮な野菜と持ち寄りのおかげで、市民農園の方々も一緒に楽しくいただきました。

午後はコウノトリ文化館で係員の説明を聞きながらコウノトリを見ました。ちょうど餌の時間で園の池のまわりにはたくさんのコウノトリとおこぼれを狙うサギが集まっていて壮観でした。コウノトリの「声」であるクラツリング(クチバシを打ち鳴らす音)も聞くことができました。長い首をのぼし、羽をひろげて飛ぶ姿は優美で、豊岡だけでなく日本中でこの姿が見られるようになるといいですね。



## おしゃベリアラカルト

### 大文字送り火

荒木 左江子

この夏駒井邸で大文字送り火を楽しみました。灯り始めてから消えるまですべて見るのは初めてです。いよいよ八時、アメニティ2000協会の皆さんと一緒にサンルームへ行くと、窓際はひんやりして蚊も居ないのです。暑さを忘れ、じっと目を凝らしていると、煙まで見えてきて思わず歓声を上げました。

火は益々燃え盛り、「大の字」をくっきり浮かびあがらせています。炎の帯は揺らめき、まるで息を吹き込まれ

たよう。それは幻想的な夜空の大絵巻です。ずっと見ていると、父と母そして友人たちの顔が次々目に浮かんできました。この静かな北白川の地でヴォーリズの設計した家に仲間と集まって、ゆったり穏やかなひとときを共に過ごせるというのは、何と幸せな事でしょう。

そして気づいたのは、この大文字送り火はその時に一斉に京都中の人々が意識を向け、心が一つになっている、祭りに参加しているのと同じ高揚感があるという事です。また準備から本番まで様々な人たちの連帯感があり、そ

れを持ち続ける気力、更に先祖代々受け継いできた日本の精神風土の深さを感じました。だからこれからもそれら文化を守り伝えていく事が大切なのだと思いました。

<8月16日 駒井家住宅にて>



### 10周年記念コンサート鑑賞に参加して

宮井 克也

アンサンブル・アメニティのコンサートに出かけるのは今回で3回目、アメニティの文化活動の一つの音楽には特に興味があります。送ってこられたチケット3枚、誰と行くかしばらく寝かせてあったが、やはり歌仲間4人を誘うことにした。

兵庫県立芸術文化センター、小ホールは2回目。観衆は満席、いよいよ開演。ハーブ、リュート、バイオリン、ボーカル、出演者登場まず「庭の千草」、歌いだし、一声で、ゾク、ぐーっと人を惹きつける、歌いだし、素晴らしい、その後、畑儀文さんの進行、アンサンブルのメンバー紹介、小型ハーブに注目、ハーブの値踏みになり、大変ユーモラスだった。

演奏は休憩をはさみ、奏者ソロあり、アンサンブル・アメニティの世界に浸る、終盤になってイングランド民謡を伴奏に、日本のニューミュージック「神田川」を歌われたのは驚きであった。最後拍手鳴りやまずアンコール「ヘンデルのラルゴ」オンブラマイフの演奏で幕、楽しい一時であった。実行スタッフの皆様、ありがとうございました。



### 10周年記念コンサートの参加して

中村 由美子

諸々の事情からここしばらくアメニティの行事から遠ざかっておりました。たまにはアンサンブル・アメニティさんの音楽で心穏やかなひとときを過したいと思い、以前旧甲子園ホテルでの「名建築と音楽シリーズ」にお誘いして喜んで下さったお友達に再び声をかけて二人で参加しました。

兵庫県立芸術文化センターは大ホールには何度か行っておりましたが、今回初めて小ホールへ。暖か味のある造り、演奏者との距離も近くて親しみやすく、アンサンブル・アメニティさんのコンサートにふさわしい場所と感じました。会場では何度か顔を合わせた方々は勿論、アメニティとは別のグループで一緒の方々もあちこちに・・・世間は狭いなとつくづく感じましたが、それもそのはずです。いいお仲間のお集りの会だからこそお客様の顔ぶれも素敵な方々なんだと納得。

そして久しぶりに聞かせていただくアンサンブル・アメニティさんのイキの合った演奏の数々はとても魅力的で心の奥迄しみ入りました。難解な曲ばかりですといくら名演奏でもついうとうとという失礼な事態になりがちですが、一切そういう心配もなく、常に心地良い集中力を持って聞きほれておりました。選曲もずばりお客様の年齢層にぴったりの曲ばかり。皆様方きっと懐しい思い出にひたりながら心なごむ時間をお過しになられた事でしょう。

この会の成功のためにご尽力なされた皆様方に深く感謝。そして20周年記念、30周年記念・・・も参加出来ますように願っております。素晴らしい企画を有難うございました。

### 予告2

### 六甲山荘大掃除&暖炉とワインと石窯ピザを楽しむ会

六甲山荘の今年度の公開も間もなく終わります。大掃除と片付けをして、そのあと暖炉をかこんで楽しく食事をする打ち上げ会を次のように開催します。今年はとくに石窯で焼くピザが目玉です。かなり涼しくなっていますが、石窯の温度を400度ちかくまであげて、おいしいピザを焼きましょう！

月日 2010年11月23日(水・祝)

### 六甲山荘だより

### 9月の六甲山荘

9月7日の朝日新聞夕刊に六甲山荘の紹介記事が写真入りで大きく掲載されました。とたんに電話での問い合わせが次々とかかり始めました。案の定その週末から来場者が増えていきます。喫茶も販売も増え、ありがたいことですがスタッフは大忙しです。しばらくこの調子が続くと予想されます。皆さん、山荘のスタッフとしてぜひおいでください。初めての方でもできる仕事です。また庭の掃除などの作業もあります。遠慮なさらず、どんどん参加してくださいませよう、お待ちしております。

9月10日(金)から秋の一般公開が始まりました。京都も秋の観光シーズンで、人出も多いようです。駒井家の庭にはススキが群生していて、秋の光をあびて穂が輝いています。秋の京都を味わいながらスタッフを試してみませんか。ご参加お待ちしております。



**私たちの手でヴォーリス六甲山荘を育てましょう!**

**ヴォーリス六甲山荘募金報告(目標金額 2000 万円)**

8月の募金状況 76,000円<累計8,574,749円(590名から1,527口)>  
会員 40,000円(5名から8口)<累計4,507,270円(401名から898口)>  
一般 25,000円 <累計3,182,345円(194名から634口)>  
一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>  
その他 6,300円<累計799,434円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ 2000 協会



作業・野点席のレンガ張り

**ワーキングホリデーの光景**



作業・リビングの窓枠塗り



作業・土間の板張り



石釜でピザを焼く



野点を楽しむ



交流会(ケンウッド館)